



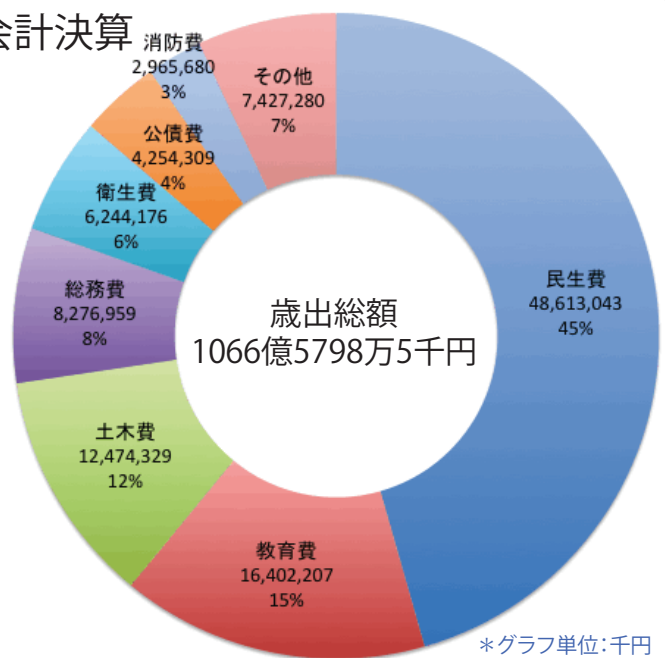
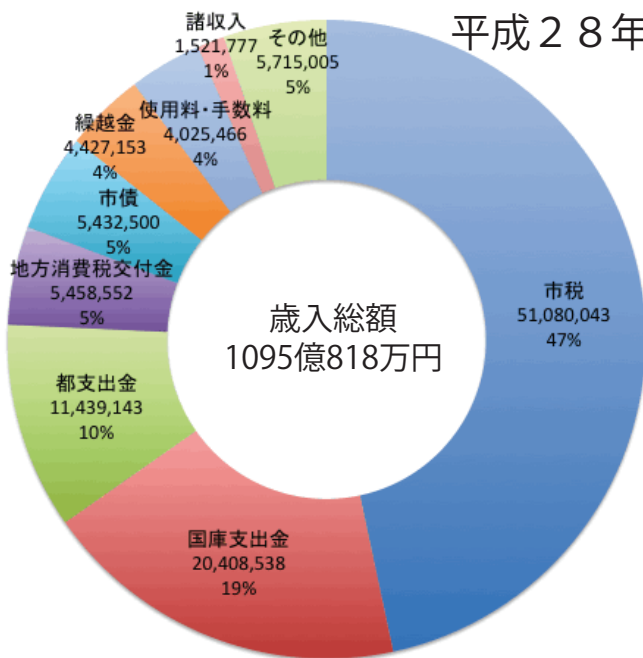
## 府中市議会議員 須山たかし

【発行】市民フォーラム  
〒183-8703 東京都府中市宮西町2-2-4

### 平成28年度一般会計決算が可決されました。

9月4日～9月29日の25日間で府中市議会第3回定例会(9月議会)が開催されました。9月議会では、前年度の決算が審議されます。今回は平成28年度決算の審議が行われました。私たちの支払った税金がどの様に使われるのかを審議する大切な定例会です。

#### 平成28年度一般会計決算



\*グラフ単位:千円

平成28年度は「府中駅前再開発事業」や新給食センターの新築など長年に渡る府中市の大規模事業の仕上げの年となる様な年度でした。

また、それ以外にも小・中学校特別支援学級への空調整備や、地域福祉コーディネーターを設置し、地域の支え合いを進める等の施策が行われました。

市民フォーラムは平成28年度決算案に賛成致しました。

#### 須山たかしの主な質疑

##### ◎「市民協働」に関して

Q.28年度はワールドカフェなどを開催し、楽しい「まちづくり」を進めてきた。職員の参加は？

A.各課の市民協働推進員を中心に全課の職員が参加して好評を得ていた。

##### たかしの目

Code for FUCHUなど、市民の自発的な取り組みが進んできたことは非常に評価出来る。市民の元に入っていき一緒に考え、行動し、まちづくりを進めるためにも、より沢山の職員が参加できるように取り組んでいく必要があります。



##### ◎「子育て」に関して

Q.妊娠期から子育て機まで切れ目のない支援を行うワンストップサービスの拠点である「子育て世代包括支援センター」の概略や開設の時期は？

A.母子保健施設(保健センター)と子育て支援施設(たち)の特徴を活かし、機能強化・連携を行い、一体的な提供を通じ、包括的な支援を行うもの。全妊婦との面接を行い、実情を把握し、各種相談に応じ、必要な情報提供や支援プランの策定や関係機関との連絡調整等を行う。開設時期は出来る限り早期に開設するよう進めている。

Q.地域で孤立してしまいがちな在宅子育て家庭への支援は？

A.6箇所の期間保育所と2箇所の広場などできめ細かく対応を進めていく。

##### たかしの目

ワンストップの考え方として、現在二箇所の拠点がある中で、どちらに行っても「ワンストップ」で済むようにしっかりと連携を図っていく必要がある。また、子育て世代が集える場所などもしっかりと確保していく必要がある。

# 一般質問 「性的マイノリティの差別解消に向けて」

性的マイノリティ（少数者）は人口比率で7.6%が当事者に当たるとい調査があります。府中市の人口に単純に当てはめると、2万人近い人が当事者であることとなります。

世界的にも性的マイノリティの方々への差別解消の動きが進む中、日本はまだまだ足りているとは言えません。

2020年に東京オリンピック・パラリンピックの開催を控えた東京で課題解決が進む中、府中市の姿勢に関して質問致しました。

Q. 渋谷区や世田谷区などで同性パートナーシップ制度を認めているが、これに対する評価は？

A. 渋谷区では、平成27年4月に「渋谷区男女平等及び多様性を尊重する社会を推進する条例」を施行し、法律上の婚姻とは異なるものとして、男女の婚姻関係と異なる程度の実質を備えた、戸籍上の性別が同じ二者間の社会生活における関係を「パートナーシップ」と定義し、一定の条件を満たした場合にパートナーシップ証明書を交付している。

世田谷区では、平成27年11月に世田谷区パートナーシップの宣誓の取扱いに関する要綱を施行し、互いをその人生のパートナーとして生活をともにしている、またはともにすることを約した性を同じくする2人の者を「同性カップル」と定義し、同性カップルが区に対してパートナーシップの宣誓を行い、一定の条件を満たした場合に区が宣誓書の受領証を交付しております。

本市としては法整備が進んでいないこと、また、性的マイノリティに関する市民の理解が十分に進んでいないことなど、多くの課題がある中で、先進的な取り組みであると捉えております。

Q. パートナーシップ制は全国に広がりを見せてきているが、府中市は時期尚早というような答弁であったが？

A. 性的マイノリティの方々に対する偏見や差別を解消するために、本市といたしましては、国において性的マイノリティに関する法整備を行うことが肝要であると捉えておりますので、まずは国の動向を注視しているところでございます。

Q. パートナーシップ制度がない場合、どのような不具合が？

A. 渋谷区や世田谷区等の取り組みを受けまして、一部の民間企業においては同性カップル向けのサービスを提供しておりますが、本市のようにパートナーシップ制度を実施していない自治体にお住まいの方々には、これらのサービスが受けられない状況にあると考えております。

## たかしの眼



結婚をしているカップルであれば当たり前を受けられるサービスであり、性的指向が違うということで家族という枠組みが法的に認められない、そこにまさに差別状態があるのではないかと。だからこそ、渋谷区や世田谷区なんかは、条例や要綱変更で対応している。ましてや、要綱は比較的変えやすいし、何かお金をばらまけとか言っているのではなく、同性カップルを認めることで誰かの不利益になるとは思えない。目の前にある差別をどうやって乗り越えていくの



か、試行錯誤の解決策ではないか。これはすぐにも取り組むべき問題だと考える。国の動向を注視するということがありますが、自治体が動いて国を動かすということも大事なのではないだろうか。皆さんはどう思いますか？ぜひご意見をお聞かせください。

インターン生たちが市議会の傍聴に来てくれました。若いみんなが政治を身近に感じてくれるようこれからも頑張ります。



## インターン生の声

こんにちは！8月から須山たかし府中市議のもとでインターンを行っている目黒と申します。インターンとは、学生期間中に行う職業体験です。最近は、様々な企業やNPOがインターンを実施しています。理由としては、メディアを通して政治の事をよく聞きますが、私は「政治の本当の姿を見たい」という気持ちで、今回インターンに参加しました。

インターン内容は多岐にわたり、政策を考えたたり、議会の傍聴、様々な分野の勉強会への参加、地域のイベントやお祭りをお手伝いさせて頂く事もありました。このような活動から、遠く離れたところに感じていた政治が、いっきに身近なものに感じられました。

私は社会学部出身で政治勉強経験はもちろんゼロですが、須山さんの行う政治活動には人と人との繋がりが濃く見えました。そうした繋がりが一つ一つが、政治を作り上げ、地域をより良いコミュニティーへと導いていると感じました。地道に活動していく政治家の姿に、私が抱いていた政治へのイメージを一転させられました。政治家だけではなく、地域の住民や国民と一緒に日本を考えて行く必要性をこの2ヶ月間で一番気づかされました。

平成29年第4回府中市議会定例会(12月議会)は

**12月4日(月)開会予定**です。

是非傍聴に要らして下さい！

また、府中市議会では本会議のインターネット配信を行っております。下記URLからアクセスして下さい！

府中市議会HP <http://www.fuchu-city.stream.jfit.co.jp/>

## 須山たかしプロフィール



1980（昭和55）年11月6日生まれ（36歳）。府中市晴見町育ち・在住。明星幼稚園、桐朋小・中・高校、早稲田大学社会科学部卒業。早稲田大学大隈塾においてジャーナリスト高野孟に師事（1期生）。大学卒業後、民間特許事務所に3年半勤務。その後、政党本部スタッフ、参議院議員公設秘書など国政に従事。蓮舫（れんほう）参議院議員の秘書を経て、2011年府中市議会議員に初当選。2015年2期目再選。現在、基地等跡地対策特別委員会委員長 文教委員会委員 府中市民生委員推薦委員 都市計画審議会委員 議会改革検討委員会委員 市民フォーラム所属

地域での主な活動

- ・公益社団法人むさし府中青年会議所会員・武蔵野府中ボーイズ名誉顧問
- ・けやき音楽祭2013JAZZinFUCHU実行委員長・UAゼンセン政治顧問

TEL & FAX 042-307-8309 mail [suyama1980@gmail.com](mailto:suyama1980@gmail.com)

HP <http://suyamatakashi.jp/>

ご意見  
お待ちしております！



「府中市議会議員 須山たかし」で検索

